

あさお市民活動
レポート

発行元 認定NPO法人あさお市民活動サポートセンター

あさお ふれんず

Asao friends

12
2021

2022 年度

アクティブシニアの 仲間に入りませんか

「目指せ！アクティブシニア講座」受講生募集

申し込みは
12月16日まで！



しっかり感染対策を行い開催した昨年の講座

新型コロナウイルスの大流行が
はじまって、およそ1年半。感染拡大に歯止めがかかりつつあるとはいえ、まだしばらくは「Withコロナ」の暮らしが続きます。
とはいえ、ワクチン接種率が7割を超え、少しずつではありますが「暮らしのニューノーマル」も見えてきました。「Afterコロナ」に関する民間調査によると、「真っ先にやりたいことは？」の質問に、多くの人が「親しい人との交流」と回答しています。人と人との触れ合いが制限される、かつてない状況が続いてきたコロナ禍。やはり、多くの人との触れ合いや自由な交流こそが、私たちにとって何より大事なことでしょう。
そして、自由な交流が戻りつつある中で、皆さんのお役に立てる講座の開催をお知らせします。

認定NPO法人あさお市民活動サポートセンター
目指せ！アクティブシニア講座

2008年から麻生市民交流館やまゆりで毎年開いているこの講座は、定年を迎える方や子育てを終えた方を対象に、市民活動への参加や仲間づくりをお手伝いするものです。地域社会にデビューして、これまでは出会えなかった人々とつながるための入り口となる講座です。

講座終了後は、同期の受講者によるグループが誕生します。毎年、新しい会が生まれ、「スマイリングシニア」を目指して幅広い活動を展開しています。「麻生区市民活動検索サイト」でも情報が得られますので、ぜひ参考にしてください。
今年度の講座は2022年1月15日（土）から、5回シリーズで開かれます。コロナ禍の出口が見えてきた中、地域デビューの入り口をくぐってみませんか。参加者募集は12月16日まで。仲間たちがあなたの参加を待っています。

期日	内容・題目
2022 年 1月15日	オリエンテーション・自己紹介
1月22日	シニア世代の地域活動／「地域デビュー」の心構え 麻生区の現状／課題と市民に期待する事
1月29日	麻生区の成り立ちと今後
2月 5日	アクティブシニア講座卒業生の体験談
2月12日	今後の活動／まとめ

申込み方法

麻生市民交流館やまゆり他で配布されるチラシ裏面の
申込書に必要事項をご記入の上、ご提出ください。
チラシは、やまゆり HP からもダウンロードできます。

ダウンロードページ：

<https://yamayuri.ne.jp/4747>

お問い合わせ：044-951-6321



古武道を通して心を鍛えよう

無外流居合兵道丹新会

形(かた)を教える先生の声が稽古場に響きわたる。刀が空気を斬るシュツという音が小気味いい。丹新会の新百合ヶ丘道場を取材した。会で学ぶ無外流居合兵道は、1693年(元禄6年)に流祖辻月旦(つじげったん)が興した。

練習は独りで行う基本と形の稽古と、2人で対峙し間合いと体捌き(たいさばき)を学ぶ組太刀だ。まずは先生が手本をみせ、一斉に刀をふるう。鯉口を切って抜刀し、突いて斬るまでの前半は、体捌きと刀の動きが素早い。斬って刀を鞘に納めるまでは速いが、後半の残心(ざんしん)はユックリなのが印象に残った。息づかいが荒くなり、取材当日は肌寒かったが、ひと



右足は真後ろに引き、刀は水平に構え、このあと斬り下ろす。一連の動作が素早い



威儀を正して刀は右に(前列中央右から4人目が代表の石川さん、左が先生の横山さん)



むがいりゅういあいへいどうたんしんかい
無外流居合兵道丹新会

代表：石川泰三
連絡先：090-1467-9353 横山勉
設立：2008年10月
会員：90名(男性：75名、女性15名)
10歳～80歳代、無級～7段
入会金：1500円
会費：5000円/月
活動日：毎週日曜 9:00～12:00
場所：麻生スポーツセンター 武道室、
麻生市民館 体育室
HP: <http://www.tanshin-kai.sakura.ne.jp/>



休みごとに額の汗を拭う。模造刀や木刀を使うが、距離を十分とって安全第一なので安心していい。初心者用にはウレタン樹脂を巻いた柔らかな木刀を貸してくれる。
3カ月から半年通えば恰好がつくという。意欲が上達の秘訣とのこと。審査は昇級が適時、昇段が年1回。級段ごとの国際大会(会員に3段で優勝経験者がいる)もあるので励みになる。
揃えるものは稽古着、袴、下帯、膝パット、模造刀に木刀。健康維持や武道好き、日本刀好きからはじめる人が多いが、初心者大歓迎、気軽に訪ねてほしい。
取材：文 区民記者 中島久幸

文学の魅力、朗読で伝える

つばき



例会では、少しずつメンバーが読み継いでいく。それぞれの工夫が聴きどころだ

文芸作品や詩歌を声に出して読み上げる朗読は、演劇などと同様に、表現力を磨く趣味として人気が高く、グループも多い。「つばき」もそのひとつ。麻生市民館や麻生市民交流館やまゆりで例会を開き、さまざまな作品の朗読を楽しんでいる。

30年に及ぶ経験を持ち、朗読グループ「婉(えん)」を主催する上松千恵子さんをリーダーとして、17年にわたって活動してきている「つばき」。60代から80代の女性が集まり、文学作品やエッセイを朗読している。これまで読んできたのは、小泉八雲、幸田文、藤沢周平、三浦哲郎、夏目漱石、太宰治、白洲正子、村上春樹といったところ。テキストは主に上松さんが選ぶが、メンバーが好きな作品を持って

くる場合もある。一人ずつ、適当な区切りごとに読み、上松さんがアドバイスするのが例会のスタイル。それぞれに自分なりの表現方法を工夫しながら読み継いでいくのが朗読練習の面白みだ。

「もともと本を読むのが好きなのですが、声に出して読むと、より深く読み込めます。(黙読とは)違う景色が見えてくることも。食わず嫌いだった作家や作品に、新たな発見をすることもありますよ」とは、キャリア6年半という代表の上松さん。文学の楽しみを、仲間と共有することができるとの朗読の醍醐味だと指摘する。コロナ禍が収まれば、日ごろの工夫を各自が披露する朗読会も開けそつだ。

取材：文 区民記者 佐藤次郎



つばき

代表：長谷川真理子
連絡先：044-988-8306
(長谷川代表、FAXも可)
設立：2014年
会員：7名
会費：1回1400円、月会費1000円
活動日：月2回(第2、第4月曜)
場所：麻生市民館、
麻生市民交流館やまゆり

こどもの笑顔はたからもの 寺子屋事業をご存知ですか？

寺子屋あさお実行委員会

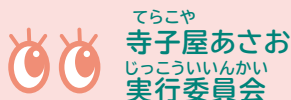
「寺子屋」という古風な言葉に惹かれて「寺子屋あさお」を取材した。

川崎市は平成26年から「寺子屋事業」をてがけている。学校やボランティアの寺子屋先生や他の協力団体が力を合わせて、放課後や休日に希望者に課外活動を行っている。現在麻生区には9校の寺子屋があるが「寺子屋あさお」もその一つで、毎週木曜日午後2時40分からの学習支援と、月1回の体験学習がある。子ども支援に加え世代間交流や文化伝承の目的もあるのが特徴だ。

取材当日、開講に備えて早々とボランティア先生が集まってくる。安全面、健康面を非常にきづかっているのが分かる。打ち合わせ後ほどなくすると、楽しそうに子どもたちが集まっ



「寺子屋あさお」授業風景。先生たちは細やかな目配りで子どもたちを優しく導いていく



代 表：三好一義
連絡先：070-8325-5735
開 講：2021年2月
開講日：学習支援(6月～2月毎週木曜日
午後2時集合)
体験学習(月1回土曜日午前)
場 所：麻生小学校
メンバー：コーディネーター3名、
スタッフ1名、寺子屋先生10名
参加児童：2021年度58名
(2年生24名、3年以上34名)
H P: <https://asaocc.net/asao/>



てくる。2年生だ。やや幼い表情だが実にしっかりしている。思い思いのドリルやプリントを選んで勉強を始め、質問があると黙って手を挙げる。この後に続く高学年はさらに真剣だ。この日は自習時間後に『川柳の決まり』をビデオで学び、川柳を作った。短時間に集中している姿がとても印象的だった。

取材中に感動した事がある。ボランティア先生の活躍ぶりだ。高齢者が多いのだが、心から楽しそうに取り組んでいる。児童からエネルギーをもらい若返った気がするという。市では寺子屋先生養成講座を開催している。子どもたちを支える活動にチャレンジしてみるのはいかがだろう！

取材・文 区民記者 名越耀子

ダンスは生涯楽しめる運動だ！

ツインクル

近頃ほどダンスが流行しているのを「どうしたのだ日本」と感じているのは私だけではないだろう。個人に適した運動は球技とかマラソンとかではなくほかにもあるということ、なんとダンスは体育の義務教育の必修となっている。スピードとか持久力を競うことではない運動としてダンスは見直されている。

ツインクルは社交ダンスの初心者がある。ダンスを楽しむことができる場がある。ヒールのある靴を履きダンス衣装の男女が手を取り合いステップを踏む。高齢でも器用に複雑なステップをこなす。リズムに合わせ体をコントロールすることの楽しさには特段の筋力や持久力が必要が無い。これが高齢者にも優しい運動となるのである。



6回の講習会を経ればこの優姿の一員に



代 表：駒澤一夫
連絡先：090-2417-8327
設 立：2017年
会 員：11名(男3名女8名)
会 費：4000円/月(4回/月)
開催日：月曜日9時
場 所：金程会館(麻生区金程4丁目12)

ろう。「身体も使うが頭も使う」数あるステップを男女が阿吽の呼吸であわせていく。

社交ダンスは女性の立居振舞を美しく見せるため男性が寄り添う。引けば押し、押せば引く。その駆け引きがうまくいく時、喜びが生まれ、美しさが引き出される。奥深い。

駒澤代表は実にベテランな講師でウイットに富んだ助言でアドバイスを。社交ダンスの場はまずは楽しくである。基本を押さえれば楽しさが倍増する。初心者にはステップの「足の出し方、身体の使い方」の基本から丁寧に教える。

レッスンも音楽に合わせて踊りだすと最高潮に。実にさわやかな集まりだ。

取材・文 区民記者 景山茂



梨子ノ木の緑を守り育む —かわさき自然と共生の会—



大量の土砂を搬入し整地工事中のがけ地(谷戸)
現在の緑地(下写真)は想像もできない
(2004年頃撮影 写真提供 かわさき自然と共生の会)



豊かな緑の中、茅葺小屋の補修作業に集い昼食をとる
会員、地元や遠来の有志たち
(2021年5月撮影 写真提供 岡上ワークキャンプ実行委員会)

「NPO法人かわさき自然と共生の会」(堂前雅史会長・以下「会」という)は、岡上の梨子ノ木特別緑地保全地区で、清掃や緑地の整備、植樹、草刈りなどの保全活動を行っているグループである。

2003年6月にNPO法人化してから18年。間もなく150号となる機関紙の発行、他団体と共催での茅葺小屋の補修作業(年3回程度)のほか、2005年3月からは原則、毎月第2日曜日を定例の保全活動日として、クズ等の雑草除去、茅葺に利用する茅の刈り取り、枝払いや、近くの圃場(耕作地)ではジャガイモ、サツマイモ、ダイコンなどの栽培も行っている(芋煮会で利用)。また、コロナ以前は岡上さやま探検隊、麻生里山フォーラムなどの企画をはじめ

め、多くのグループ、個人に利用されていた。

前会長で顧問の鎌谷衛さんによれば、この地はかつて多量のごみが不法投棄される急峻ながけ地(谷戸)で、NPO化後の初仕事も多量のごみの片づけだったそう。その後、地権者や隣接する会社の協力で大量の土砂を搬入し、谷戸を埋め立てたことで、更地ながらも現在の地形に造成された。会では2006年、2007年に近隣の幼稚園などと協働でクヌギ、コナラなどを約900本植樹し、2007年には麻生ヤマユリ植栽普及会(貞本勉会長)によるヤマユリの植栽も行われた。

岡上梨子ノ木特別緑地保全地区の指定は、会の前身組織が2000年9月に川崎市に提出していた「緑の保全及び

緑化の推進に関する施策に係る申出書」を端緒として、2004年1月に承認された(現在の面積は約3.7ha)。特別緑地保全地区に指定されたとの知らせに接したとき、鎌谷さんは「この喜びは生涯忘れられない」と語った。

取材した高橋透、藤田昭雄両氏のことは、土地所有者、地元の人々、行政担当者そして会のメンバー等、多くの人々の間に、善意と緑豊かな場所を再生・育成しようという強い意志の共鳴があることが感じられた。岡上梨子ノ木特別緑地保全地区の素晴らしさを体験されることをお勧めしたい。

取材：文
区民記者 仲原照男

ほうじん しぜん きょうせい かい NPO法人かわさき自然と共生の会

代表：堂前雅史(どうまえまさし)

連絡先：044-989-7777(FAX)(堂前)

<https://twitter.com/kyouseinokai>

設立：2003年6月

会員数：120名(男性75名 女性45名)

会費：入会金1,000円 会費1,000円/年

活動日：原則月1回第2日曜日 午前10時～12時

場所：岡上梨子ノ木特別緑地保全地区
(鶴川駅から徒歩約20分)



ふれんずの輪を広げよう

区民記者が、あなたの活動取材します！

活動を紹介
して欲しい

取材申込み方法

応募条件

麻生区を拠点に活動している。または、麻生区在住・在学・在勤など麻生区に関わる方が活動に参加している。

申込方法

- ①団体名 ②代表者名 ③連絡先(電話・FAX・メール)
 - ④活動内容(イベントの場合は開催日時・料金・内容)
- をFAXまたはメールでご連絡ください。

イベントを
取材して！

あさお区民記者

「区民による 区民のための情報発信」を目的に活動。原則、第2木曜日に『麻生市民交流館やまゆり』で編集会議を行っています。過去の記事や記事や取材後記はホームページをご覧ください。



麻生市民交流館やまゆり

〒215-0021 川崎市麻生区上麻生1-11-5

※選挙、政党・政治団体など政治活動に関わるもの、宗教団体による布教推進を目的とするもの、営利目的の団体・個人、プライバシーの侵害や業務妨害のおそれのあるもの、差別を助長するものは掲載できません。

FAX 044-951-6467 MAIL info@asao-ku.net

お申込みいただいた内容については、編集会議で可否を検討したうえ、改めてご連絡させていただきます。